

食品汚染と内部被曝 いまここにある危機

今日なに食べる

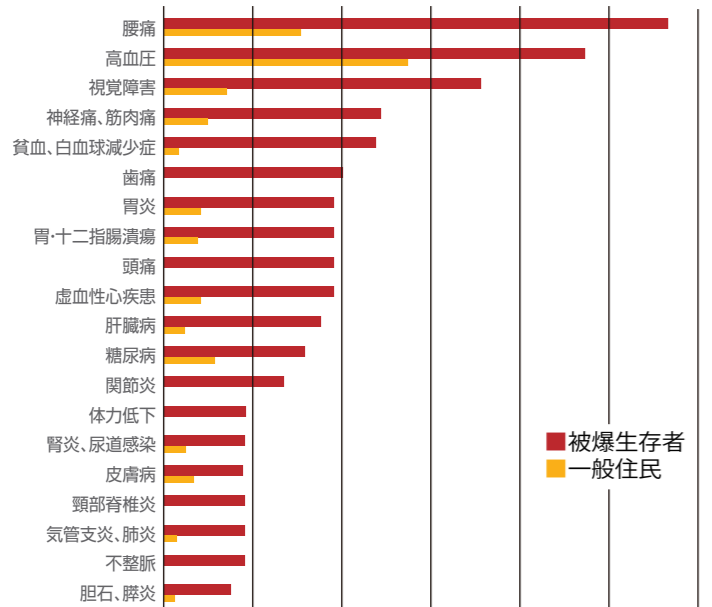
内部被曝問題 Q&A

Q どうして放射線被曝が怖いのか？

放射線は遺伝子を傷つけて細胞をガン化させるなど、あらゆる生命機能に破壊的に作用します。特に、呼吸や飲食を通じて体内に入った放射線源から被曝する「内部被曝」は「外部被曝」に比べて何百倍も危険性が高いと指摘されています。「それほど危険ではない」とする意見が出てくる理由は、その人が内部被曝の危険性を知らないか、無視していることによりです。

「がん」だけではない 放射線被曝のリスク

日本の原爆被爆生存者と一般住民の罹病率の比較 (%)



(資料:1985-1990年、1232人の原爆被爆生存者調査。振津かつみ氏による)

放射線による人体への健康被害は、ガンだけではありません。ごく一般的な病気さえも増加させます。広島・長崎の原爆被爆生存者は、一般住民よりも病気の発症率が高くなっています。腰痛は3.6倍、高血圧は1.7倍、目の病気は5倍、神経痛と筋肉リウマチは4.7倍に増えており、胃痛・胃炎などでも同じ傾向です。放射能は子どもや一部の人のみならず、全ての人に被害をおよぼす可能性があるのです。

Q どうして内部被曝が怖いのか？

外部被曝では破壊力の小さなガンマ線が主になりますが、内部被曝では全種の放射線が人体に到達します。破壊力の大きなアルファ線・ベータ線の内部被曝が与える傷は、ガンマ線に比べ、より複雑で修復しにくいとされています。

また、放射線源の性質によっては、身体の特定位点集まって集中的に被曝を発生させるものがあります。そのため、被曝の量としてはそれほど大きくなくても深刻な症状がでる危険性があり、最近はその裏付けする実証データも多数出てきています。

Q 内部被曝を避けるためには？

内部被曝の経路には「呼吸」と「食料・水分の摂取」という二つがあります。西日本の大気汚染は現在ではそれほど問題ではありませんが、食物の汚染は深刻です。全国どこでも「汚染された食材を注意深く避けること」が大事です。日常的に食品汚染の情報を調べる習慣を持ちましょう。ネット上には様々な情報が載せられています。

外食が多い人は、汚染食材の多くが外食産業に流れていることに注意が必要です。行きつけのお店などで店長さんに食材の産地を聞いてみましょう。ついでに、内部被曝のことも話題にしてみましょう。知識を持つ人が増えるほど、みんなの危険が減ります。基準値以下でも、放射能は取り込んだ分だけ人体への影響があります。安全値はありません。

Q どうして政府は内部被曝を軽視するのか？

放射線被曝の規制は「人体に安全な範囲に制限しよう」ではなく、「核利用を進めるために、これだけは我慢してもらおう」という発想で進められてきました。最初から安全性は二の次なのです。

だから、内部被曝が深刻な影響をもたらすことを認めれば、健康被害などへの補償が必要になりますし、場合によっては、核利用そのものをやめることも考えなければならなくなります。ですから、内部被曝の危険性を示唆する証拠は、世界的に政治の力によって無視されてきたのです。

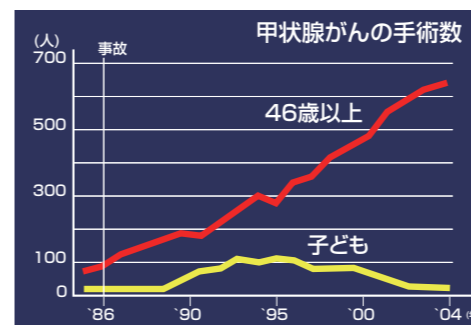
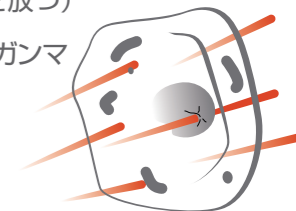
放射能ってなに？

【放射能】とは、放射性物質が放射線を出す能力のこと。また、それらの総称。

主な放射性物質	半減期	溜まりやすいところ	放射線の種類
●ヨウ素	8日	甲状腺	β
●セシウム	30年	心臓、腎臓、脳、全身	γ, β
●ストロンチウム	29年	骨	β
●プルトニウム	2万4000年	肺、肝臓	α

1ベクレル=1秒間に1つの原子核が崩壊して放射線を出す。放射能の強さの単位。(500ベクレル=毎秒500個の原子核が崩壊して放射線を出す)

α =アルファ β =ベータ γ =ガンマ

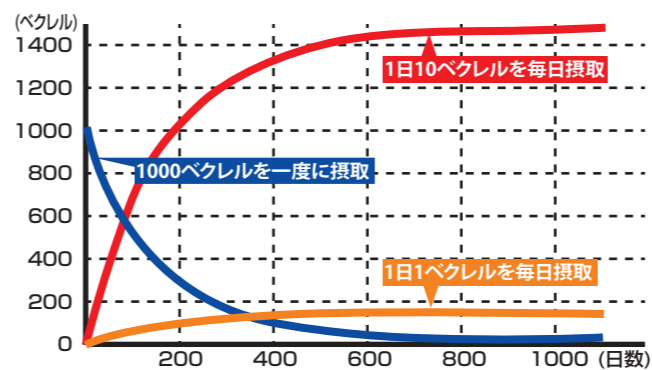


放射能を甘く見てはいけません

放射能は子どもに強く影響をおよぼしますが、大人にも影響をおよぼします。NHKスペシャル「汚された大地で〜チェルノブイリ20年後の真実〜」(2006年4月16日放送)より。

「ただちに影響はない」とは、「後から影響が出る」ということです。内部被曝の場合は、体の中から時間をかけてダメージを与えていきます。そのため、体への影響は何年もたってから現れてきます。放射能汚染は起きたばかりで、まだ被害の全貌は見えていません。「今は何ともないからきっと大丈夫」とは考えないでください。健康を維持していくために、これからも内部被曝には十分に気をつけてください。

放射性セシウムの一回国際摂取と長期摂取による体内残存量の経時推移



図によれば、毎日10bqのセシウムを体内に取り込んでいる場合、約2年弱で体内のセシウム量は1500bqに達し、平衡状態になる。

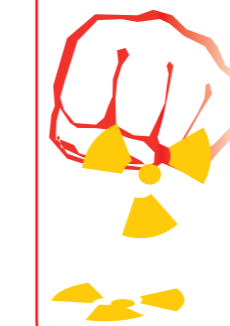
セシウム摂取量の一つの目安

バンダジェフスキー博士によれば、セシウムの体内蓄積量が体重1kgあたり20ベクレルに達すると代謝の不調が出現します。体重60kgの人であれば、合計1200ベクレルのセシウムが蓄積している状態です。体重1kgあたり20ベクレル以下に抑えるには、1日あたり8ベクレル以下に抑えなければならない計算です。

原発事故直後に日本政府が定めた暫定基準値(食料品1kgあたり500ベクレル、飲料品1リットルあたり200ベクレル)はもちろん、春から適用される新基準値(一般食品100ベクレル、飲料水10ベクレル)でも、あまりにも汚染にルーズな基準であると言わざるを得ません。日本政府の食料汚染に対する無為無策はきわめて酷い状況にあります。

ACTION

互換問題
アクション



- 各地で開催している自主学習会に参加しよう。
直近の学習会情報はこちらで。
<http://ameblo.jp/kurikindi60/>
- お住まいの自治体に「受入れやめて」と電話で伝えましょう。
代表電話番号にかけて「広域処理担当をお願いします」、これで担当のところまでつないでくれます。
- 家族や友人にこの話を伝えて!
環境省からの宣伝しか知らない人もたくさんいます。
「本当に被災地支援になるの?」と問いかけてみましょう。

このチラシの製作・増刷へのカンパにご協力よろしくお願ひします。
郵便振替口座 00980-2-195109 関電包囲行動(カンデンホウイコウドウ)
通信欄に「チラシカンパ」と入れてください。

自分と家族だけを守ろうとしても、きれいな食材も水も空気もどんどんなくなっていけば先はありません。みんなで協力して政府にはたらきかけることが重要です。是非、力を貸してください。学習会や講演会、デモに出かけてみよう。出かけたなら話しかけてみよう。仲間を作ろう。面倒なこともあるけど、目をそらさないで取り組むことの楽しさもあります。自分のために。仲間のために。未来の子どもたちのために。